

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成30年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
-----	-----------------------

所管課	産業経済局 MICE推進課
-----	---------------

団体に対するミッション
内外の工業製品等の展示紹介を通じて西日本地域の産業の高度化と貿易の振興、北九州市における観光事業の健全な振興に資するとともに、コンベンションの誘致、支援等を通じて地域の活性化及び文化の向上に資することにより、本市の経済政策を支援し、にぎわいと活力あふれるまちづくりに貢献する。

行財政改革大綱における見直し内容
<p>今後、策定を予定している、観光振興の柱となる新たなプランに基づき、コンベンションをはじめとしたMICE（※）事業の強化に取り組む。</p> <p>また、より効果的・効率的な誘致・集客体制を図るため、観光関連団体等との連携や統合も視野に入れた機能強化について検討する。</p> <p>※MICE…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議や全国規模の大会、学会等（Convention）、展示会・見本市、様々なイベント（Event/Exhibition）の頭文字をとった用語で、多くの集客・交流が見込めるものを言う。</p>

ミッションに基づく中期計画								
3～5年後に 目指す状態	MICE開催拠点である小倉駅新幹線口国際コンベンションゾーンを一体的に運用し、積極的にMICEを推進することにより、産業振興・国際化の推進・にぎわいづくりに貢献する。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H28	H29	H30		R1	R2	R3	R4
	実績	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
3施設の来場者数	91万人	107万人	82万人	88万人	82万人	前年度水準を維持		

ミッションの遂行状況の評価（平成30年度）			
団体における 評価	学会・大会の誘致に積極的に取り組み、日本政府観光局発表の「2017年国際会議開催件数」では、前年を上回る8位となり最高位を更新した。北九州国際会議場の利用件数は目標を下回ったものの、全体的には施設運営の目標を上回っており、3施設の稼働日数・稼働率は前年より向上し、高い稼働状況を維持している。主催事業においても国、県、市、大学、関係団体、研究機関と連携し、効果的な事業促進に努めた。こうした取り組みを継続することで、にぎわいや活力あるまちづくりに貢献した。	市の評価	3施設の来場者数は、目標値を上回っており、小倉駅新幹線口のにぎわいづくりに大きく貢献している。グローバルMICE都市・北九州市として、ローカルホスト及び、グローバルMICE推進協議会との連携を強化し、積極的な誘致活動を進めたことにより、国際会議開催件数は過去最高となり、本市が国際会議都市として高い評価を得たことに大きく寄与している。
	今後の課題及び見直し内容（案）		団体への改善指導内容（案）
	利用件数・来場者数等の更なる増加を図り、にぎわいや活力あるまちづくりに貢献するための改善に取り組む。 ○主催事業における、出展者・来場者のニーズをとらえた、既存事業の充実や、新規事業の開発。 ○MICE誘致における、地域から海外に広がるネットワークを活用した、キーパーソンへの積極的な営業活動。 ○貸館利用者の誘致における、新規利用の開拓、過去利用者の復活利用、大規模イベント誘致等の営業強化。		コンベンション部門と観光部門が連携して、より効果的・効率的な誘致・集客体制を構築するよう改善を求める。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	－
団体の機能強化、拡充を図り、北九州市のMICEおよび観光振興をより一層推進するため、平成29年4月に西日本産業貿易コンベンション協会と北九州市観光協会が合併し、北九州観光コンベンション協会が発足した。	